2009年7月

2010年5月

2010年7月

2005年

2007年

2008年

2009年

で開始

「上海万博」開幕

338.9(+1.6%)

374.9(+10.5%)

397.7(+6.1%)

344.6(-13.3%)

331.8(-3.7%)373.1(+12.4%) 馬

寄せ

首中

交正常化40周年機に関係密

日中国交正常化40年間の歩み						
	1972年9月	「日中共同声明」で日中国交正常化が実現				
	1978年8月	「日中平和友好条約」を締結				
	1992年7月	中国人の海外観光旅行が解禁				
	2000年5月	「日中文化観光交流使節団2000(平山郁夫団長、二階俊博運輸相)」				
		5千人を北京に派遣。江沢民国家主席、胡錦濤国家副主席も出席				
	2000年9月	訪日団体観光査証の発給を地域限定(北京市、上海市、広東省)				
		で開始				
	2002年5月	東京国際フォーラムでの「日中国交正常化30周年」記念式典に				
		中国から5千人が参加。小泉純一郎首相、橋本龍太郎元首相も出席				
	2002年9月	人民大会堂(北京)での「中日国交正常化30周年」記念式典に				
		日本から1万3千人が参加。江沢民国家主席、胡錦涛国家副主席も出席				
		万里の長城で1万3千本の記念植樹を実施				
	2003年4月	「ビジットジャパンキャンペーン実施本部」開設				
	2003年9月	中国が訪中日本人査証免除措置を開始				
	2004年9月	訪日団体観光査証の発給地域を追加拡大				
		(天津市、江蘇省、淅江省、山東省、遼寧省)				
	2004年9月	訪日修学旅行生に対する査証免除を開始				
	2005年3月	「愛・地球博」開幕				
	2005年7月	訪日団体観光査証の発給を中国全土に拡大				
	2006年7月	北海道で第1回「日中韓観光大臣会合」開催				
	2007年	「日中国交正常化35周年」で日中双方向3万人交流事業を実施				
	2007年1月	「観光立国基本法」施行				
	2008年3月	訪日団体観光査証の発給要件を家族旅行まで緩和				
	2008年8月	「北京五輪」開催				

	「中国海南島の旅」に仙台空港から出発					
2011年9月	訪日個人観光数次査証の発給を開始					
2011年10月	「日中国交正常化40周年記念実行委員会(会長=米倉弘昌経団連会長)」					
	発足					
2012年	日中国交正常化40周年					
日中間の交流人口拡大の推移 (単位:万人)						
	訪中日本人客数	訪日中国人客数	合計(双方向交流人数)			
2003年	225.1	44.9	270.0			
2004年	333.4(+48.1%)	61.6(+37.1%)	398.0(+46.3%)			

65.3(+6.0%)

81.2(+24.3%)

94.2(+16.0%)

100.0(+6.2%)100.6(+0.6%)

141.3(+40.5%)

404.2(+2.4%)

456.1(+12.8%)

491.9(+7.8%)

444.6(-9.6%)

432.4(-2.7%)

514.4(+18.9%)

2011年8月 温家宝首相の招待で、東日本大震災被災地5県の小中学生100人が

訪日個人観光査証の発給を中国全土に拡大

訪日個人観光査証の発給を地域限定(北京市、上海市、広州市)

国政府と中華人民共和国 国政府と中華人民共和国 政府の共同声明(日中共 政府の共同声明(日中共 政府の共同声明(日中共 北京で調印された「日本1972年9月29日、

日中国交正常化とは

展させるため、

平和友好

に日中国交正常化10周年

週

側代表は周恩来首相と姫 府は、1972年9月29日に終了する」「両国政の共同声明が発出される 国政府は、両国間の平和ることを決定した」「東 日から外交関係を樹立す 反好関係を強固にし、 た。その後も1982年

での不正常な状態は、こ国と中国との間のこれま日中共同声明には「日 ての・・・でパンダブームがユート野動物園に到着。日本上野動物園に到着。日本 日中国交正常化を記念となどと明記された。 (雄2歳)、頭のパンダ、 して中国から贈られた2 カンカン

で締結されている。 (雄)が、1992年にを記念してフェイフェイ が上野動物園にやってき記念してリンリン(雄) 日中国交正常化20周年を 日中平和友好条約は







民大会堂での式典には江中団が北京を訪れた。人00』という5千人の訪 沢民国家主席、 文化観光交流使節団20 長)を団長とする『日中 先生(=日中友好協会会 「00年に故・平山郁夫の記念事業を経験した」 交正常化30周年と35周年 ら77年。2回目が11年か 「最初の赴任は90年か 胡錦濤国

士の友好交流や社会経済 の扉を開いた。両国の観 光業界はもとより国民同 談が中日観光交流の歴史 店で数日間に及ぶ中国側京の崑崙(こんりん)飯 訪日団体旅行を解禁する との会談の末、 中国人の き

常化30周年だった。 一一02年が日中国交正 年5月に5千 をニューオータニで開 間の観光交流フォーラム 方人訪中、 9月に5千人が訪日-人訪日を決めた。02 30周年で日本からの

交流に方針を変えた。中「35周年では、地域間 市の間で双方向交流を行 周年を迎える。 3万人が交流した」 国と日本のそれぞれ数都 40周年では1人でも 中日両国合わせて いよいよ今年は40

陜西省・陜西歴史博物館



るシンポジウムや相互交光、環境保全などに関す島の観光産業や海洋観

中国の海南島か沖縄で、の分野で取り組みたい。

西地域、北京・天津・河ルタ地域と大阪中心の関

北経済圏と東京・横浜を

いきたい。

競演などを通じて一般市

携わる観光業界の人々にが、中日間の観光交流に

中日国交正常化40周年

ような関係を深めていき

れぞれ地域間交流を進め 中心とする首都圏で、

いま修学旅行を中心とす

る。

青少年交流も重要だ。

でくれると確信してい大きな喜びと幸せを運ん

東京国際フォー

ーラム

青少

交流を

地域間交流と

上海を中心とする長江デ

張首席代 表に聞く

立つ同年1月に訪中。北「二階先生はこれに先大臣がご尽力された」 日本側では二階俊博運輸 時私は中国側の事務局。 家副主席も出席した。

任をされた。

席代表として 3度目の赴

昨年1

月、東京首

と携わってこられた。 光交流記念事業にもずっ

海市、広東省で訪日団体本は9月から北京市、上大きな一歩となった。日大きな一歩となった。日 規模にはならなかった」 日間の観光交流は今日の二階先生がいなければ中 観光査証の発給を開始。 人が訪中した。国民同士月には日本から1万3千 で大交流会を開いた。9

びであふれていた。観光生き生きとしていた。喜 交流に大きな力を感じ 表情は皆一様に明るく、 た の交流の中で、 07年が35周年。 参加者の

お勧め観光スポット

間交流が

番

然で大事だと思う」が、民間の交流が一 青少年交流、地方間交流、 民間の交流が一番自 日本の外務省は、

> 流が最重要となる」 提となる。つまり観光交 提となる。つまり観光交 済交流、被災地支援を重済交流、観光交流、観光交流、経 点7分野としている。 ーツ交流、

ント、胃耳耳をハい。政府レベルでのイベ

うな市民交流に注力した 多くの人が参加できるよ 検討されている。中でもを記念し、中日双方の政を記念し、中日双方の政

では特に、中日両国の地が置かれている。中国側 域間交流と青少年交流を

「海洋観光ツー 地域間交流は、 リズム」

龍局 まず う)デルタ地域と九州、中心とする珠江(しゅことの地域間交流。広州を もう1つは、中流会を開きたい。 経済圏と日本の大都市圏もう1つは、中国3大

たい。書道家、山水画家は文化・芸術交流を行いこの地域間交流の中で の交流に加えて、中国民 らと日本の芸術家たちと

族舞踊と日本の祭りとの

いきたい。 せることで未来の観光交る。これを復活、拡大さ 交流の品質向上を目指しまた中日双方向の観光 お互いに満足できる ケットにつなげて

々な要因で減少傾向にあ数は5万人前後だが、様る中日間の青少年交流人

· 3 7 祝中国国交正常化40周年、 輝かしい未来に向かう中国と日本の友好関係へ。観光を通して相互の発展を深めていきましょう。









中国南方航空 CHINA SOUTHERN



